市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－①	渡嘉敷村観光客誘致促進及びＰＲ促進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（１２）－ア 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容

継続的な観光振興を推進するため、県外からの修学旅行受け入れ活動の強化、県内外で開催される観光イベント等でのＰＲ活動、広告媒体を活用した観光情報の発信を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　■補助　■負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,103	6,640			
	(b)予算現額	3,803	5,931			
	(c)増減額(b-a)	▲ 3,300	▲ 709			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	3,803	5,931			
B．執行済額		3,803	5,931			
うち交付金充当額		3,042	4,745			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100%	100%			

予算の状況の説明

減額709千円の発生は、観光PR用ポストカードの印刷枚数及び観光パンフレットの印刷部数が、当初見込みより減少したことが要因であるが、需要の実態に即した結果であります。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
修学旅行PR事業展開（県外） 離島フェアー等各種イベントで島のPR活動展開（県内）	目　標	（　実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

沖縄観光コンベンションビューロー主催の修学旅行説明会（東京、大阪）に参加し、体験学習についてPRした。また村と商工会が連携し、県内外の旅行社及び県外高等学校を訪問し、修学旅行の誘致及び定着に向け活動を実施した。
県内で行われた離島フェアーや東京で開催されたｱｲﾗﾝﾀﾞｰに参加し、地元の物産販売のほか、観光パンフレット、イベントPR用うちわやﾎﾟｽﾄｶｰﾄなどのグッズを製作し観光PR活動を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
修学旅行PR事業展開（県外） 離島フェアー等各種イベントで島のPR活動展開（県内）	目　標	（　）	（　実施　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

沖縄観光コンベンションビューロー主催の修学旅行説明会（東京、大阪）に参加し、体験学習についてPRした。また村と商工会が連携し、県内外の旅行社及び県外高等学校を訪問し、修学旅行の誘致及び定着に向け活動を実施した。これまでの活動成果が現れ、修学旅行の受入予定が平成25年度の15校からへ平成26年度には19校に増加の予定である。
さらに、県内で行われた離島フェアーや東京で開催されたｱｲﾗﾝﾀﾞｰに参加し、地元の物産販売のほか、観光パンフレット、イベント紹介うちわやﾎﾟｽﾄｶｰﾄなどのグッズを製作配布し、渡嘉敷島の認知度アップに取り組んだ。

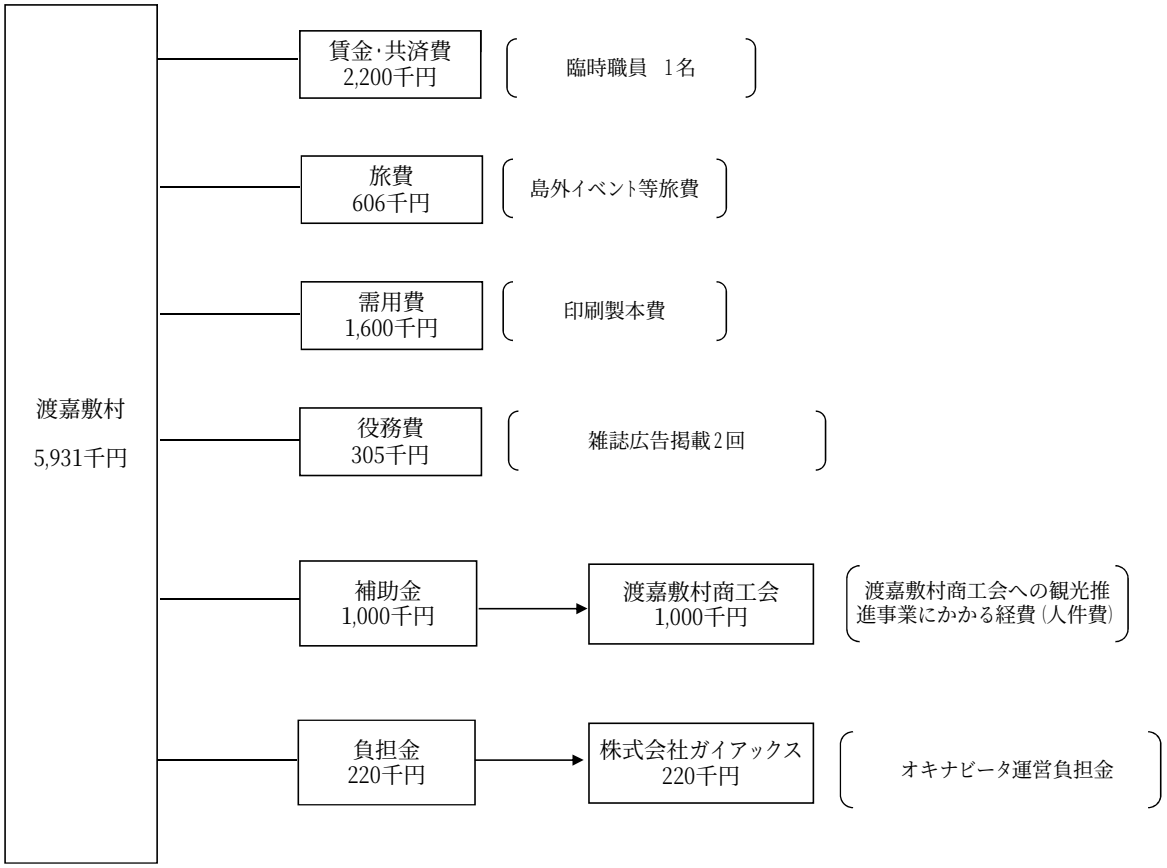
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	修学旅行について学校側との個別面談では、台風などの荒天による船便の欠航を危惧する声が多く聞かれた。 また、雨天や荒天で海での体験メニューが実施できない場合の対応などに関心が寄せられた。	台風時の沖縄本島での体験メニューなど、旅行社との連携を密にし顧客の満足を得られるよう取り組む必要がある。地元の素材を活かした料理体験など陸域での多様な体験メニューを創出し、他との差別化を図り、より強く誘致活動を実施していく必要がある。

今後の取り組み方針

食物アレルギーなどへの対応や受入時の終日動向による不測の事態への対応など、安心安全を確保し、販路開拓としては関西地区の修学旅行誘致に力を入れる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,931	5,931	4,745	1,186	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	村内の多くの宿泊業者が加入する村商工会が取り扱い窓口となって修学旅行受入を行っており、その活動を支援し地域の産業振興を図るため必要な経費を助成している。 商工会が実施した事業費の総額は3,315,536円で補助額1,00,000円は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－③	渡嘉敷村美化清掃事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光地としてのイメージアップを図るため、渡嘉敷島の海浜、道路、公園など観光客等が利用する公共施設の美化、清掃等を実施する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,100	27,435			
	(b)予算現額	5,454	32,370			
	(c)増減額(b-a)	354	4,935			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	5,454	32,370			
B. 執行済額		5,454	32,370			
うち交付金充当額		4,363	25,896			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100%	100%			
予算の状況の説明		増額4,935千円発生しているが、シャワー棟改修工事において温水シャワー設備の導入等によるものです。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光地及びその周辺の美化　8箇所	目　標	(　8箇所　)	(　8箇所　)	(　　)	(　　)
	実　績	8箇所	8箇所		
	目　標	(　　)		(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：作業員5人を雇用し、村内の公衆トイレ、自然公園広場や遊歩道周辺の草刈作業、花木の植栽、枯損木の撤去等を実施し景観美化を図った。また、多くの観光客が利用するトイレ・シャワー施設がプライバシーを保たれる作りではなく、利用者からの改善要望もあり、改修を実施し、利用者へのサービス向上を図った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
観光地及びその周辺の美化　8箇所	目　標	(　　)	(　8箇所　)	(　8箇所　)	(　　)	(　　)
	実　績		8箇所	8箇所		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：渡嘉敷港旅客待合所の清掃及び周辺の花木の植栽管理、道路沿いの花木の植栽管理、渡嘉志久海岸公園の草刈等管理及びトイレシャワー棟の清掃、照山自然公園内トイレの清掃及び遊歩道の草刈等管理、阿波連漁港トイレ・東屋の清掃及び草刈等管理、阿波連園地トイレの清掃及び草刈等管理、及び林道に設置された東屋等の清掃等観光客の利用が多い公共施設の美化、清掃等を実施し観光地としてのイメージアップに寄与した。
また、渡嘉志久海岸公園及び青少年旅行村施設内の枯損木の伐採撤去を行い利用者の安全を確保し、青少年旅行村施設内のトイレ・シャワー棟を改修し、温水シャワー設備を導入し利用者へのサービス向上につながった。

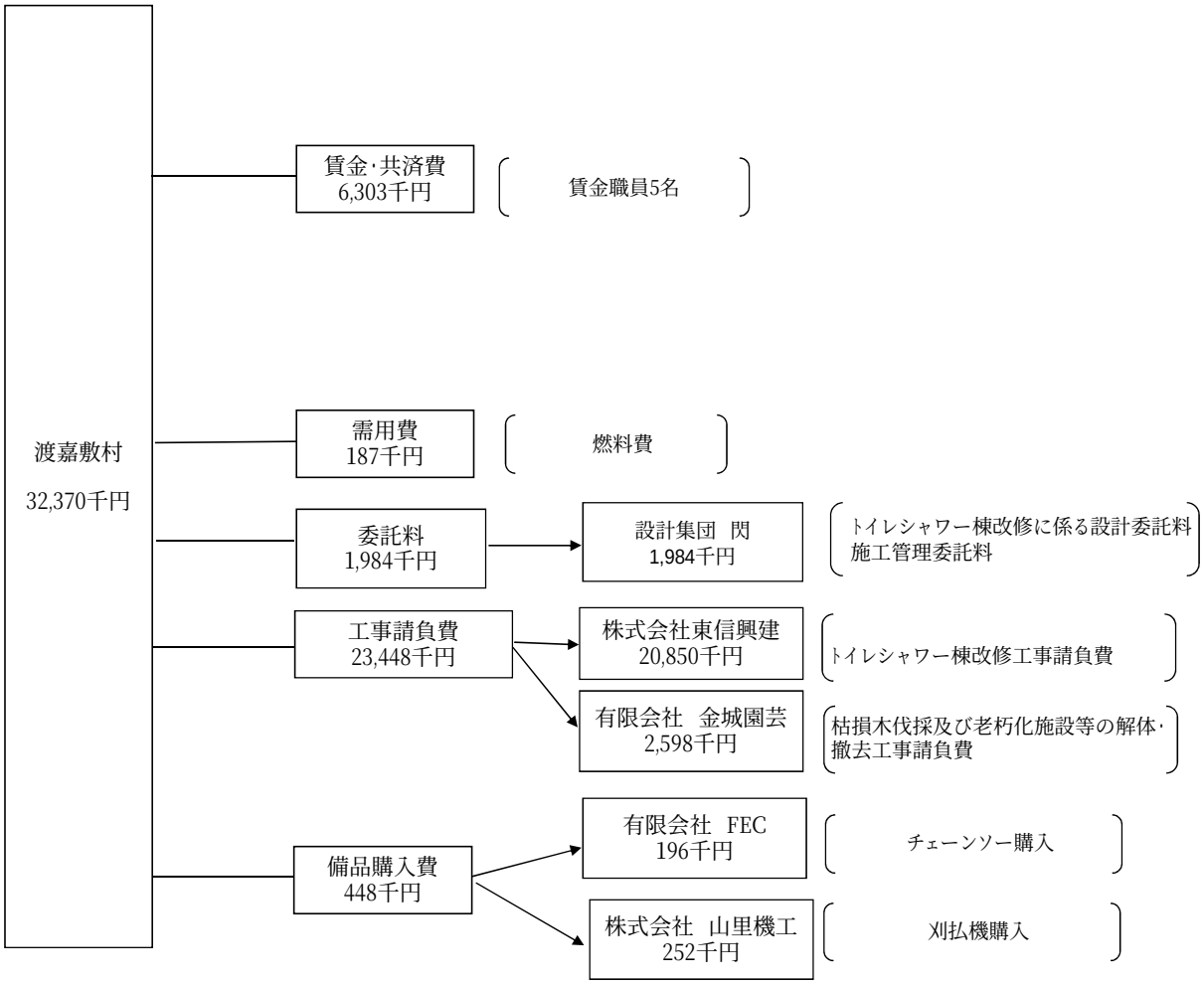
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・若年作業員の確保が困難で、木枝の処理など高所作業の担い手がいないため、作業領域の拡大ができない。 ・手作業に頼るところが多いため効率化が求められる。	車輌や機械の導入で、作業効率化を図る必要がある。

今後の取り組み方針

夏場の屋外での草刈作業等は、体力的にも厳しく作業の能率も悪いため、車輌や機械の導入で作業の効率化を図る必要がある。
また、花作りをとおして住民にも美化意識を広めるよう取り組みを工夫し、島を訪れる観光客が気持ちよく利用でき、また来たくなるような環境作りを推進するため、多種多様な植物を植栽し、1年を通して花のある観光地づくりに努める。また、ピーチの景観づくりとして、ヤシ類の苗木を育成する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
32,370	32,370	25,896	6,474	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	設計業務については指名競争入札により業者決定し、監理委託業務については、設計図書に表記されない施工方法など詳細な調整が必要なため、設計受託業者と随意契約した。また、枯損木伐採及び老朽施設等の解体・撤去工事については3社見積により、トイレシャワー棟改修工事は入札により請負業者を決定しており妥当であったと考えている。請負価格についても適正な価格設定で妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－④	旅客船インフォメーション映像制作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア 離島の特色を生かした察業振興と新たな展開
担当部課名	船舶課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

村営定期船では日本語による旅客へのインフォメーションを行っているが、高齢者や障害者及び外国人への周知が不十分なため、映像をとおしたインフォメーションビデオを制作し、すべての利用者へ正確な情報伝達ができるよう環境を整える。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,796				
	(b)予算現額	1,796				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	1,796				
B. 執行済額		1,796				
うち交付金充当額		1,436				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100%				

予算の状況の説明

これまでのインフォメーションは、日本語のみの音声発信であったため、高齢者、障害者等をはじめ、外国人への周知が十分ではなかった。これらを解消するため、当初計画していたインフォメーションを映像化し、すべての利用者へ正確な情報を発信できるようになり、計画どおり事業執行することができた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
旅客船インフォメーション映像制作	目　標	（　映像制作　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	映像完成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

モデルを起用し現場撮影を実施して、救命胴衣の着用方法や、利用客の遵守すべき事項等をわかりやすく解説したインフォメーションビデオを制作することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
旅客船インフォメーション映像制作 船内利用開始	目　標	（　）	映像作成及び運用開始	（　）	（　）	（　）
	実　績		映像完成・運用開始			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成26年3月より運用開始し、これまでの音声のみのインフォメーションに比べて、映像としてのわかりやすい説明になっているため、利用客へのサービス提供促進につながっている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	外国人観光客が増加してきており、現在の外国語圏以外（英語、韓国語、中国語）の国からの観光客への対応を図るため、村のHPの多言語表示に準じて、スペイン語、ドイツ語、フランス語の追加を検討する。	映像では日本語で音声を発し、外国語（日本語、英語、韓国語、中国語）を字幕で放映しているが、外国語についても音声での案内について検証する。

今後の取り組み方針

外国人観光客の入域が増加傾向にあるため、取り組みの検証結果等を踏まえ、インフォメーション内容を更新していく。
また、現在はフェリーのみの映像ビデオになっているが、利用客の多い高速船への設置も必要であることから、フェリー同様インフォメーション映像も構築していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,796	1,796	1,436	360	

渡嘉敷村 1．796千円 → 委託料 1，796千円 → 有限会社 グリーングループ（ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ映像制作にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	契約は随意契約をしたが、船舶のｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ制作の実績のある業者を選定したので妥当と考えている。予算規模については、船内の各施設の説明や緊急時の対応等、モデルを活用して分かり易い映像になっており、適正な予算規模であると考える。旅客輸送機関として、緊急時に備えた各種説明、情報提供は必要であり、委託料の1,796千円も支出等の書類確認により、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑤	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

天候不良等により渡嘉敷村村営定期船が欠航した時または、予定時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、住民や観光客が「渡嘉敷ヘリポート」と「那覇空港」間を運行するヘリコプターをチャーターした際の運賃を半額補助する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,079				
	(b)予算現額	2,970				
	(c)増減額(b-a)	891				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	2,970				
B. 執行済額		2,160				
うち交付金充当額		1,728				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73%				

予算の状況の説明：補助金支出条件が天候不良に伴う船舶欠航時のため、予測をする事が難しく　また、被補助者の都合による欠航等により不要額が８９１千円発生した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
利用人数:２００人	目　標	利用人数:２００人	(　)	(　)	(　)
	実　績	利用人数:２７７人			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：今年度は定期船の欠航等により、ヘリコプター７２便が運航し、２７７人の住民や観光客の利用が達成できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
利用人数:２００人	目　標	(　)	利用人数:２００人	(　)	(　)	(　)
	実　績		利用人数:２７７人			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：事業の実施により、天候不良による村営定期船が欠航した場合の観光客や住民の補完的交通手段として、２７７人の利用実績があった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民の福祉及び観光客の利便性の向上に繋がったが、全てに周知が行き届いか疑問である。	更なる利用者増のため周知を徹底する必要がある。

今後の取り組み方針

住民や観光客に「渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業」の更なる周知を図る為、事業者によるポスターやビラの配布、村のホームページでの広報活動等を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,160	2,160	1,728	432	0

渡嘉敷村 2，160千円 → 補助金 2，160千円 → ｱｲﾗｽ航空(株) 2，160千円 （運航経費にかかる経費）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先の選定については、ｱｲﾗｽ航空(株)の1社のみがヘリ運航事業者として参入しているので妥当と考える。予算規模については、自然現象に伴う事業の為、これまでの船舶欠航実績により見積判断している為、妥当と考える。受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。また、天候不良による船舶欠航時のみ事業適用し執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑥	戦争遺跡遊歩道設置事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章ー３－(12)－ア 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
担当部課名	教育委員会　教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容	観光客誘致や平和学習の根拠地として活用するため、村内の戦争遺跡に遊歩道を設置して整備を図る。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,155	106,604			
	(b)予算現額	1,155	74,088			
	(c)増減額(b-a)	0	▲ 32,516			
	(d)繰越額	―	0			
	A. 計(b+d)	1,155	74,088			
B. 執行済額		1,155	74,088			
うち交付金充当額		924	59,270			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100%	1			

予算の状況の説明：平成２５年度の遊歩道設置工事では住民避難壕の整備計画の見直し、木道設置箇所等の縮小等により減額した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
戦争遺跡遊歩道の整備 住民避難壕の整備 特攻艇秘匿壕の整備	目　標	戦争遺跡遊歩道の整備 住民避難壕の整備 特攻艇秘匿壕の整備	（　）	（　）	（　）
	実　績	戦争遺跡遊歩道の整備 特攻艇秘匿壕の整備			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：戦争遺跡遊歩道、特攻艇秘匿壕の整備は当初の活動目標通り実施したが、住民避難壕の整備については計画の見直し等が行われ実施しなかった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(２４年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
戦争遺跡遊歩道の整備 住民避難壕の整備 特攻艇秘匿壕の整備	目　標	（　）	戦争遺跡遊歩道の整備 住民避難壕の整備 特攻艇秘匿壕の整備	（　）	（　）	（　）
	実　績		戦争遺跡遊歩道の整備 特攻艇秘匿壕の整備			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：戦争遺跡遊歩道、特攻艇秘匿壕の整備は当初の目標通り実施したが、住民避難壕の整備については計画の見直し等が行われ実施しなかった。また、今回、遊歩道の設置、整備等を行った事によって島を訪れる観光客の利用や、平和学習の場としての活用が見込まれる。

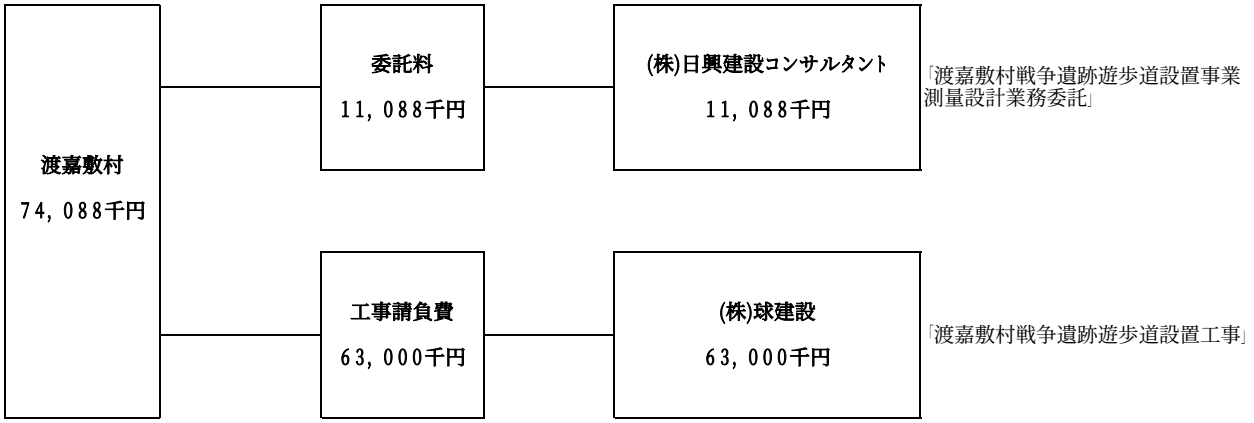
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・測量設計業務を実施する際には、担当者だけではなく有識者も交え様々な意見を取り入れていくことが大事である。 ・有識者等の意見を取り入れることにより、多面的な見方や、利用者へよりわかりやすく伝える事ができるのではないかと考えられる。（説明板や配置等）	・観光名所や平和学習の場としての更なる利用者数の増加。また、それを受け村を訪れる観光客数や研修生の増加を図るため、情報提供や遊歩道等設置箇所の安全管理や清掃などを行っていく。

今後の取り組み方針

遊歩道設置を実施した戦争遺跡が、観光客誘致や平和学習の場としてたくさんの人々に活用されていくように、適正な管理運営を行い、様々な方面への周知活動等も取り組んでいく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
74,088	74,088	59,270	14,818	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託業者、工事請負業者は指名競争入札により実績や知識等を勘案した上で選定しており、妥当である。 予算規模に関しては事業内容に見合った内容で妥当である。 費目・使途に関しては書類等の確認した上で、目的に即し真に必要なものとして適正な内容である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑦	渡嘉敷港ターミナル外観整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	経済建設課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

渡嘉敷港ターミナルの屋根瓦が台風により破損欠落した箇所があり、観光客等利用者の安全確保のため、修復工事を行う。また、塩害等による腐食により使用出来なくなっている一部の照明及び放送設備の改修を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	8,814				
	(b)予算現額	8,814				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	8,814				
B. 執行済額		8,691				
うち交付金充当額		6,952				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99%				

予算の状況の説明：不用額の１２３千円は設計額の見直しにより減額となったものである。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
渡嘉敷港ターミナル屋根瓦修復工事 渡嘉敷港ターミナル外壁塗装工事	目　標	渡嘉敷港ターミナル改修工事実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	渡嘉敷港ターミナル改修工事完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：今年度は屋根瓦の修復及び塩害等による腐食している照明設備等一部修復を実施した。
当初予定していた外壁塗装については、屋根瓦の修復数量が増えたため、ターミナル利用者等の安全確保を優先し、外壁の塗装については、予算不足となることから今回は実施を見送った。

成果目標(指標)及び進捗状況

		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
渡嘉敷港ターミナル屋根瓦修復工事完了 渡嘉敷港ターミナル外壁塗装工事完了	目　標	（　）	渡嘉敷港ターミナル改修工事実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		渡嘉敷港ターミナル改修工事完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：今年度は屋根瓦の修復及び塩害等による腐食している照明設備等一部修復を実施し、安全性の確保と港景観の形成を図ることができた。観光客の満足度アンケート調査が未実施となっており早めに実施する必要がある。

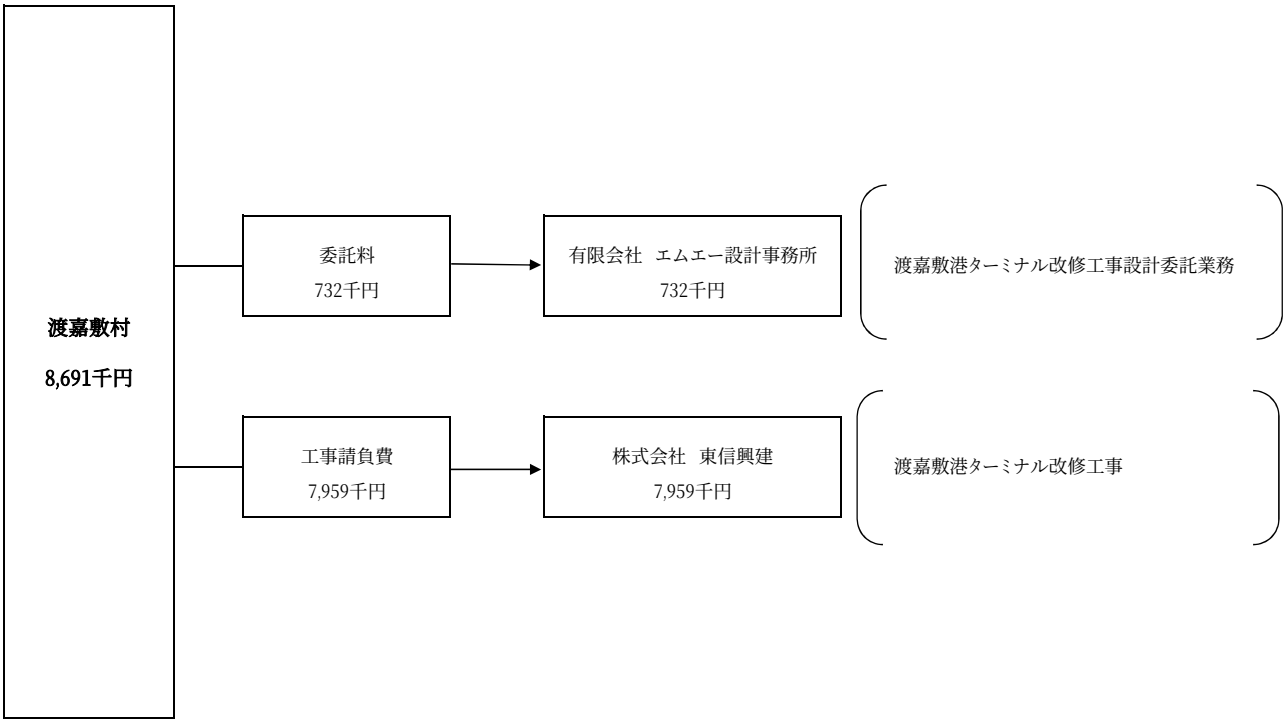
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今回の事業実施により安全性の確保と港景観の形成はおおむね図られたと思われるが、今後の港ターミナル施設の更なる環境改善と利便性の向上を図っていくため、観光客からの評価を調査する必要がある。	観光客の満足度調査アンケートを実施し、ターミナル施設の安全性の確保と港景観の形成の向上を図る。

今後の取り組み方針

今後とも観光地としてふさわしい港景観の形成と安全性の確保を図るため、観光客等の満足度調査を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,075	12,075	9,660	2,415	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定については、工事の早期発注を行うため、設計書を早急に作成する必要があり、履行期間等を考慮して三者見積もりにより業者を選定した。工事請負業者については指名競争入札により業者決定しており妥当であったと考えている。 ○費目使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2	渡嘉敷村農地保全事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－イ 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)
事業内容	農作物のイノシシによる被害拡大を防ぎ、農家に安心して安定的な農産物の生産と農業振興を図るため、箱罠を設置してイノシシを捕獲駆除する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,664	1,250			
	(b)予算現額	4,664	1,250			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	4,664	1,250			
B．執行済額		4,099	1,133			
うち交付金充当額		3,279	906			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		88%	1			

予算の状況の説明：巡回用オートバイを当初2台購入予定としていたが、坂道の多い島の地形を考慮し、より馬力の大きいオートバイ1台を購入としたことにより執行残が発生した。そのほかについては、当初計画した事業はすべて実施した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
イノシシの捕獲駆除実施	目　標	捕獲器8器、巡回車両1台購入	イノシシ餌付け用餌、巡回用バイク2台購入	（　）	（　）
	実　績	捕獲器8器、巡回車両1台購入	イノシシ餌付け用餌、巡回用バイク1台購入		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：箱罠の設置により年間捕獲目標の１００頭はほぼ達成できており、農作物への被害も減らすことができている。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
イノシシの捕獲頭数:１００頭	目　標	（　）	（100）	（100）	（　）	（　）
	実　績		101	99		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：巡回車両や巡回バイクによる定期的な見回りの実施し、イノシシの多発地帯への箱罠の設置を行い、状況に応じた捕獲作業を実施している。巡回を実施することで餌の状況や、イノシシの多発地帯を把握することができる。

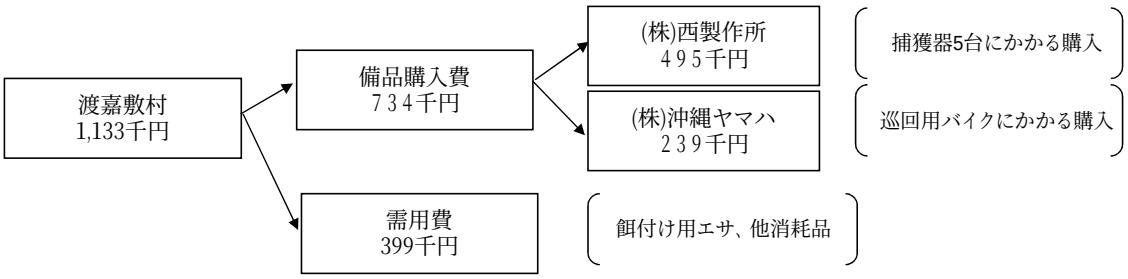
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	季節やイノシシの習性によるものと思われる要因で、月によって捕獲頭数のばらつきがある。村内各地での目撃や道路沿いの掘り起し等が見られ、繁殖による増加に捕獲が追いついていない。	引き続き箱罠設置により地道な捕獲活動を展開を行う。

今後の取り組み方針

狩猟免許講習会への受講費用等を補助し、箱罠の設置台数を増やすことにより捕獲要員の確保に努めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,133	1,133	906	227	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	捕獲器やバイクの購入については、数社からの見積もりを比較しての購入としているため、適正な選定方法であったと考えている。予算規模については、若干の執行残が発生したが適正な規模であったと考えている。費目・使途については適正に処理されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－①	小学校学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ
					離島における定住条件の整備
担当部課名	教育委員会　教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容	村内2校の小学校は、児童数の減少により複式学級となっているが、子ども達の学力向上の推進及び教職員の負担を軽減するため、小学校教諭の資格を有する学習支援員を配置する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,260	3,744			
	(b)予算現額	1,260	4,419			
	(c)増減額(b-a)	0	675			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	1,260	4,419			
B. 執行済額		750	3,965			
うち交付金充当額		600	3,171			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		60%	1			

予算の状況の説明：・不要額が454千円発生しているが、支援員の賃金を一部県費で負担したことによるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
学習支援員配置数 渡嘉敷小学校1人 阿波連小学校1人	目　標	(　1人　)	(　2人　)	(　　)	(　　)
	実　績	1人	2人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：
・複式学級である渡嘉敷小学校の5・6年及び阿波連小学校の1・2年、5・6年の算数と国語の授業を行い、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図れた。
・活動目標は達成している。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
村内小学校への支援者派遣率	目　標	(　0%　)	(　50%　)	(　100%　)	(　　)	(　　)
	実　績		50%	100%		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：
・児童の学力向上や教職員の負担軽減が図ることができ、今後も更なる学力向上や教職員の負担軽減が期待されることから、実施を検討する。
・成果目標は達成している。

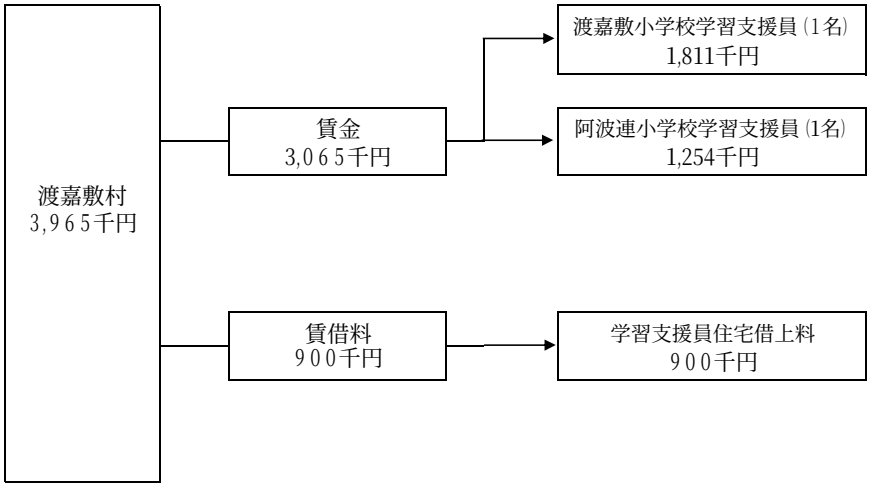
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・「確かな学力」の向上の推進による取り組みとして学習支援員を2人配置したことで、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図れ成果目標を達成しているので、現況においては課題は無いものと考えます。	・児童の学力向上や教職員の負担軽減が図れることで、国県が実施する各種学力テストにおける成績の更なる改善を図る。

今後の取り組み方針

・子ども達の更なる学力向上や教職員の負担軽減を図っていくため、2校で2人の学習支援員の配置体制を維持する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,965	3,965	3,172	793	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、賃金の時給算定を臨時職員等の給与に関する規則及び資格等を考慮し行っていることや、賃借料の算出も近傍同種及び物件の使用形態等を考慮し算出しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途について、賃金は出勤簿等で管理をし臨時職員等の給与に関する規則に基づき支給していることや、住宅家賃の支給についても、賃貸借契約に基づいて適正な支出をし事業目的達成の観点から必要なものを支給していたため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－②	児童･生徒派遣支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－５－（２）－ア 公平な教育機会の享受に向けた環境整備
担当部課名	教育委員会　教育課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）

事業内容	村外で実施されるスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことにより、離島の教育的なハンディーを克服する。
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,992				
	(b)予算現額	1,992				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	1,992				
B. 執行済額		1,455				
うち交付金充当額		1,164				
次年度繰越額		0%				
執行率（%）(B/A)		1				
予算の状況の説明		･不要額が５３７千円発生しているが、定期船の欠航により大会への派遣中止等で派遣費が縮減したものであり、当初計画していた事業内容は概ね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
各種スポーツ大会･文化祭等派遣 小学校2校 中学校1校	目　標	（　3校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：･渡嘉敷小学校と阿波連小学校及び渡嘉敷中学校の児童･生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができたことで、離島の教育的なハンディーの克服に繋がり活動目標は達成している。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
派遣児童･生徒数(累計)：１９５人	目　標	（　）	（195人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：･定期船の欠航による大会への派遣中止や、地区大会から県大会等上位への進出に伴う派遣人数の減少により、当初目標に対して▲９５人となったが、3校の児童･生徒全員が、村外で実施されたスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験出来ない貴重な経験を積むことができたことで、離島の教育的なハンディーの克服に繋がり概ね成果目標は達成している。

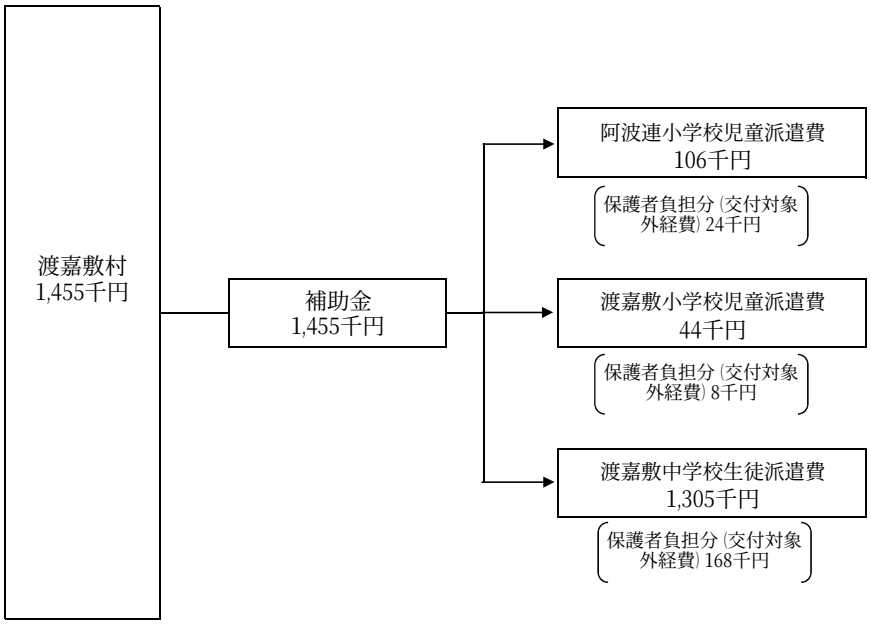
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・目標には届かなかったものの、主に気象条件によるものであり、村外で実施されたスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に継続して参加するために、学校における部活動等の強化を図る必要がある。	・村外で実施されたスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に継続して参加し、県大会等の上位大会へより多くの児童・生徒が参加するために、学校における部活動等の強化を図る。

今後の取り組み方針

・村外で実施されるスポーツ大会や文化発表会などの各種教育活動に参加し、離島の教育的なハンディーの克服を図るため児童・生徒を継続して派遣する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,655	1,455	1,164	291	200



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担金（児童・生徒派遣費）については、渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程に基づき支給していることや、派遣費の使途については精算時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 ○受益者負担については、渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程に基づいて保護者からの一律負担となっており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－③	幼稚園預かり保育事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	教育委員会　教育課	事業実施(予定)年度	平成２５～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容	保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、幼稚園において預かり保育を実施する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,026				
	(b)予算現額	1,026				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	1,026				
B. 執行済額		903				
うち交付金充当額		722				
次年度繰越額		0%				
執行率（%）(B/A)		1				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容は概ね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
預かり保育(賃金職員雇用)　1人	目　標	(　1人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1人			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明	・渡嘉敷幼稚園に預かり保育を担当する職員を配置したことで、保育環境が充実し親子が健やかで安心した日常生活が送れるようになり、活動目標は達成している。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(25年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
入園児全員の預かり保育が可能となる。保護者のニーズに合った対応が可能となる。(預かり保育受入率)	目　標	(　100%　)	(　100%　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明	・預かり保育の要望幼児21人全員を受入しており、成果目標は達成している。

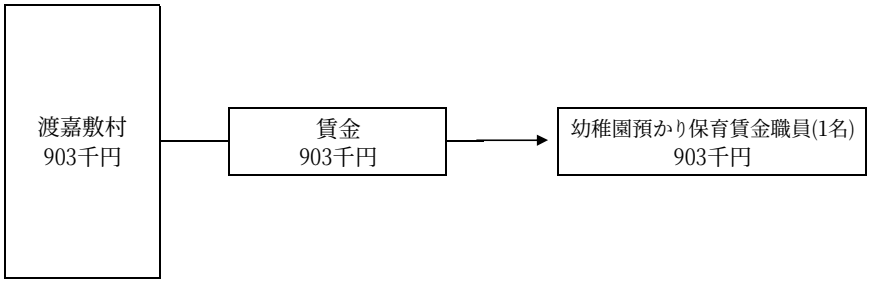
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・幼稚園に預かり保育担当の賃金職員を雇用することで、保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、預かり保育を実施し成果目標を達成しているので、現況においては課題は無いものと考えます。	・幼稚園に預かり保育担当の賃金職員を雇用することで、保育環境を充実させ、親子が健やかで安心した日常生活が送れるよう、預かり保育を実施し成果目標を達成しているので、現況においては改善余地が無いものと考えます。

今後の取り組み方針

・園児の更なる保育環境を充実させるため、現在の１人体制から増員について検討し、引き続き預かり担当職員を配置する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
903	903	722	181	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模については、賃金の時給算定を臨時職員等の給与に関する規則及び資格等を考慮して算出しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については、賃金で雇用し出勤簿等で管理を行い、臨時職員等の給与に関する規則に基づき、事業目的達成の観点から必要なものを支給していたため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－②	渡嘉敷村住民戸別訪問サポート体制づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(3)－ア 健康福祉セーフティーネットの充実
担当部課名	渡嘉敷村役場　民生課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容

高齢者の独居世帯及び高齢者世帯への福祉支援体制の構築のため、実態調査、状況把握、常日頃からの見守り訪問を中心とした戸別訪問等の充実を図り、長寿県沖縄の高齢者を取り巻く環境を整備し、更なる長寿を手助けしていきたい。また台風接近等における住民の対策状況確認や避難の際の誘導体制及び避難所への移動等にも必要になるため、軽自動車を購入し、渡嘉敷村の高齢者福祉事業のスムーズな活動･行動に役立てたい。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,530				
	(b)予算現額	1,800				
	(c)増減額(b-a)	270				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	1,800				
B. 執行済額		1,628				
うち交付金充当額		1,302				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90%				

予算の状況の説明

･当初は、普通軽自動車を計画していたが、軽自動車福祉車輌へ変更したため、270千円補正した。
･不要額が172千円発生しているが、車輌購入の際の見積り結果により、残額が発生した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	27年度
サポート車輌の整備	目　標	(　1台　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1台			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明

当初は、普通軽自動車を予定していましたが、高齢者･障害者等の方を対応できるよう、後部座席が昇降する軽自動車福祉車輌へ変更し購入完了しました。
常用は戸別訪問を主とするが、要援護者支援対応(災害時送迎等)の際、車椅子等対応を考えて、広く使用できるように車輌変更致しました。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
戸別訪問を行うことによる見守り支援体制の強化。災害時(台風時)の要援護者支援、高齢者･生活困窮者支援体制の強化。	目　標	(　)	15件	(　)	(　)	(　)
	実　績		1件			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明

納車が3月中だったため、戸別訪問の件数は伸びませんでしたが、村慰霊祭参列のため送迎の実施、生活保護世帯への戸別訪問を実施しました。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○常用的に戸別の訪問ができるようになり、高齢者、要援護者、その他村民へ多様な形態に対応できるようになった。車両がリアシートリフト付であるため、村行事、災害時等の高齢者（要援護者）送迎、介護サービス等を受けていない方の訪問、移送サポートができるようになる。 ○日常的に情報収集、見守りを実施することができ、多くの方を対象として個別サポートを強化できる。	○高齢者や要援護者の戸別訪問のみならず、災害時の避難経路や訓練等周知活動及び日常的な情報収集、台帳登録、見守り等を実施することにより、避難指針計画へ役立てることができ、より戸別サポートを強化できる。

今後の取り組み方針

高齢者の福祉支援体制を強化し、住み慣れた島で過ごしていただけるようサポート致します。常日頃からの見守り訪問を中心とした個別訪問等の充実を図り、長寿県沖縄の高齢者を取り巻く環境を整備し、更なる長寿を手助けしていきたい。また台風時災害時等における住民の対策状況確認や避難の際の誘導及び避難所への移動等もスムーズに実施していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,628	1,628	1,301	327	0

渡嘉敷村 1,628千円 → 備品購入費 1,628千円 → 琉球ダイハツ販売(株) 1,628千円 （軽自動車福祉車輌購入）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○普通軽自動車から軽自動車福祉車輌へ変更したことにより、活用の幅が増えた。（健常者・障害者・高齢者） ○費目・使途については確定時において見積り、契約書等に関する書類により確認、適正であった。 ○車輌購入先については、車輌選定により決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－①	渡嘉敷村救急対応整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第2章－3－(11)－イ 離島における定住条件の整備
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

渡嘉敷村は年間10万人余の観光客が訪れており、観光産業が村の基幹産業になっている。しかしながら、非常備消防団となっており、救急搬送に対応出来ない状況である。安心安全な観光客受入体制を確保するために、公共施設へのＡＥＤの設置と、急患発生時に対応出来るよう救急車を整備する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	13,691				
	(b)予算現額	14,889				
	(c)増減額(b-a)	1,198				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	14,889				
B. 執行済額		14,889				
うち交付金充当額		11,911				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100%				

予算の状況の説明：AED設置箇所増に伴い増額した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
ＡＥＤ18台と救急車1台の購入設置	目　標	（ ＡＥＤと救急車購入 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	ＡＥＤと救急車購入			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：ＡＥＤを18台購入し公共施設へ設置した。また、救急車を購入完備した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
ＡＥＤ18台と救急車1台の購入設置	目　標	（　）	（ 購入設置 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		購入設置			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：AED18台と救急車を整備し、安心安全な観光客受入体制が整った。

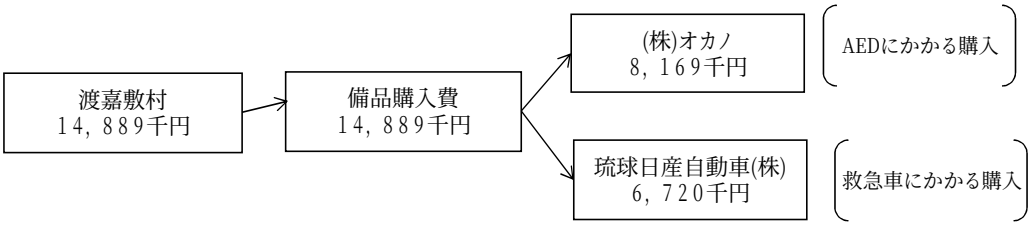
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ＡＥＤを設置したが、住民や観光客に設置場所を周知させる方策の検討が必要。また、住民や事業者にAEDの取扱いについての周知が必要と考える。	設置場所の周知の方策として、広報紙やホームページ等を活用し向上を図り、更に設置必要箇所がないか検証する。また、取扱いの講習会等の必要性を検討する。

今後の取り組み方針

急患発生時の迅速な対応を図るため、安心安全な観光客受入体制の更なる整備の検証を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,889	14,889	11,911	2,978	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業者選定については指名業者選定委員会による指名であり、指名競争入札による落札から予算規模も妥当と考える。AEDは、リモート遠隔管理が可能な機種であり、救急車は搬送業務を主とした車両と目的に即した物である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－②	渡嘉敷村防災備蓄倉庫購入設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ 離島における定住条件の整備
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容	地震や津波などの大規模災害発生時の村民･観光客に対応出来る備蓄食糧や災害対応品の確保と、それらを保管する備蓄倉庫を購入し設置する。観光シーズンには村民の3倍近い観光客が島に滞在するため、観光客にも対応出来る備蓄体制を構築する。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,878				
	(b)予算現額	11,859				
	(c)増減額(b-a)	981				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	11,859				
B. 執行済額		11,859				
うち交付金充当額		9,487				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100%				

予算の状況の説明	９８１千円の増額は、当初計画の備蓄倉庫より、沖縄の気候風土に強い仕様の備蓄倉庫へ変更したためである。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
備蓄倉庫2台と備蓄食糧及び備蓄資機材を購入	目　標	備蓄倉庫、食糧、資機材購入	（　）	（　）	（　）
	実　績	備蓄倉庫、食糧、資機材購入			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	7㎡の防災備蓄倉庫を2台を購入し、備蓄食糧を７００名の３日分と備蓄資機材(簡易ベッド、マット、簡易畳、発電機)を購入し完備した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
防災備蓄倉庫と備蓄食糧及び備蓄資機材の購入	目　標	（　）	（購入完備）	（　）	（　）	（　）
	実　績		購入完備			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	防災備蓄倉庫と備蓄食糧及び備蓄資機材の購入設置により安心安全な備蓄体制が整った。

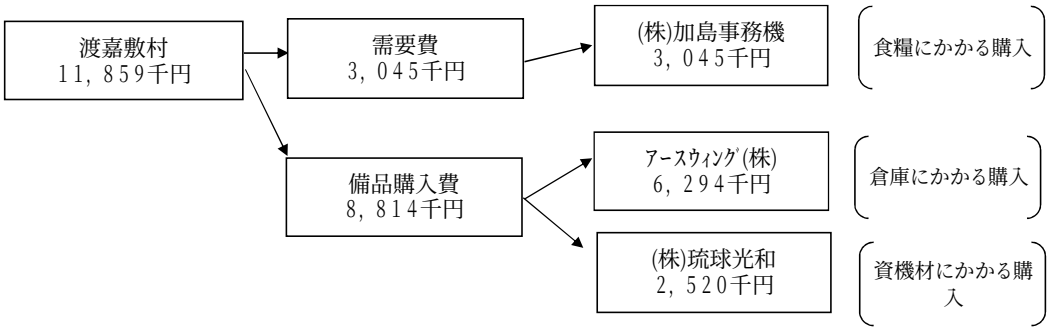
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	備蓄倉庫と備蓄食糧及び備蓄資機材の購入設置は行ったが、今後の管理体制を検討する必要がある。	日常的に使用する物ではないため、備蓄倉庫の外観や気密性及び備蓄食料の保存状態、資機材の保管及び機能低下等の定期管理を行う必要がある。

今後の取り組み方針

災害に強い観光地づくりとして、今回は避難後の必要物品等を整備したが、今後は避難に至るまでの避難道路や非難案内標識等どのような整備が必要か検証する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,859	11,859	9,487	2,372	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業者選定については指名業者選定委員会による指名であり、指名競争入札による落札から予算規模も妥当と考える。また、備蓄倉庫の規模及び備蓄食糧については、防災計画で定める3日分の備蓄食糧を保管する規格であり数量である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5－③	渡嘉敷村内観光エリア樹木安全確保事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ 離島における定住条件の整備
担当部課名	経済建設課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

観光的に美観を損ねている村内の至る所に繁茂している外来植物の討伐と、毎年襲来する台風の度に起こる倒木被害や道路決壊等の原因にもなっている幹線道路沿いの樹木の伐採を行うことにより災害の未然防止を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	27,525				
	(b)予算現額	12,254				
	(c)増減額(b-a)	▲ 15,271				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	12,254				
B. 執行済額		12,075				
うち交付金充当額		9,660				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99%				

予算の状況の説明

当初予定していた外来植物の討伐地域が湿地地帯ということで、討伐に係る機械の搬入が厳しい状況であることで、人力による討伐を検討したが年度内に完了が厳しいため、外来植物の討伐業務については、測量設計のみ実施した。今年度は基幹道路沿いの樹木伐採のみを実施したため、当初予算額より大幅に予算減の事業執行となった。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
島内の外来植物の討伐及び基幹道路(村道等)沿いの危険樹木の伐採	目　標	村内幹線道路沿い樹木伐採委託業務設計施工の実施	(　)	(　)	(　)
	実　績	村内幹線道路沿い樹木伐採委託業務設計施工の完了			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明

外来植物の討伐については、討伐箇所が湿地地帯のため、討伐に係る機械類の搬入が厳しい状況となったため、実施方法の検討が必要となり今年度は実施出来なかった。また、基幹道路沿いの伐採の実施により景観の形成と基幹道路の安全性が図られた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
島内の外来植物の討伐及び基幹道路(村道等)沿いの危険樹木の伐採	目　標	(　)	村内幹線道路沿い樹木伐採委託業務設計施工の実施	(　)	(　)	(　)
	実　績		村内幹線道路沿い樹木伐採委託業務設計施工の完了			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明

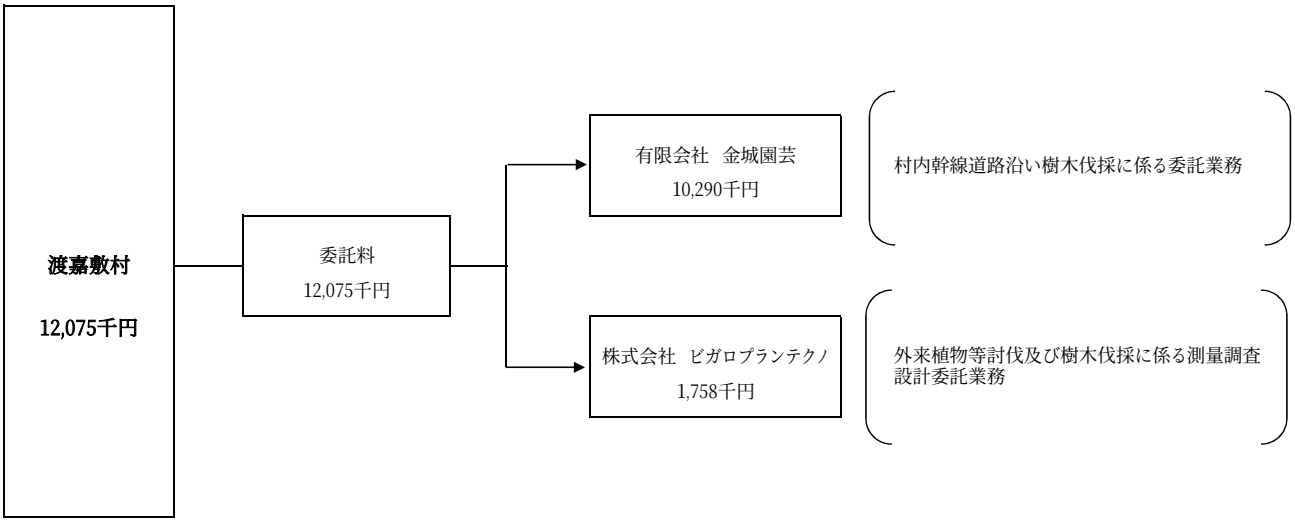
外来植物の討伐は実施出来なかったが、基幹道路沿いの伐採により景観の形成と基幹道路の安全性が図られた。しかし、危険性が全て除去された状況には至っておらず、今後とも継続的に実施していく必要がある。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	大木化した危険樹木の伐採については、大型機械の導入が必要となり、今後検討が必要である。また、外来植物の討伐については、現地が湿地帯であることから、履行期間を考慮して設定し、今後改めてため発注する。	平成26年度継続して事業実施を計画していたが、外来植物等の討伐において、施工方法等の見直し検討が必要となったことにより、実施年度を調整する必要が生じた。また、村全域の危険樹木の調査を実施し、外来植物の討伐についても改めて対策を講じていく必要がある。

島内の景観維持及び樹木被害の未然防止を図るため、定期的なパトロールを実施し、計画的な対策を講じていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,075	12,075	9,660	2,415	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者及び工事請負業者は指名競争入札により業者決定しており妥当であったと考えている。 ○費目使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－④	渡嘉敷村集落内排水安全安心確保事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ 離島における定住条件の整備
担当部課名	経済建設課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

本村は年間10万人を超える観光客が来島し、観光が基幹産業となっている。しかしながら、台風の常襲地帯となっており、豪雨等により浸水被害が発生している。そのため、集落内排水路の堆積土撤去等を実施することにより、浸水被害防止や悪臭発生を防止し、災害に強い観光地、衛生環境の良い観光地としてのホスピタリティー向上を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,875				
	(b)予算現額	10,875				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	10,875				
B. 執行済額		10,749				
うち交付金充当額		8,599				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99%				

予算の状況の説明：不用額が126千円発生しているが、工事請負費の入札残によるものである。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
側溝清掃等による環境改善　L＝4.8km	目　標	渡嘉敷村内側溝清掃設計･工事実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	渡嘉敷村内側溝清掃設計･工事実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：当初予定した延長の側溝清掃は実施できたが、グレーチング(側溝蓋)が側溝に固定されているため清掃ができない箇所が発生しており、継続して対処していく必要がある。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
側溝清掃等による環境改善　L＝4.8km	目　標	（　）	渡嘉敷村内側溝清掃設計･工事実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		渡嘉敷村内側溝清掃設計･工事実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：予定していた側溝清掃の完了によりおおむね衛生環境が向上したと評価できるが、未実施箇所の早期実施が必要である。

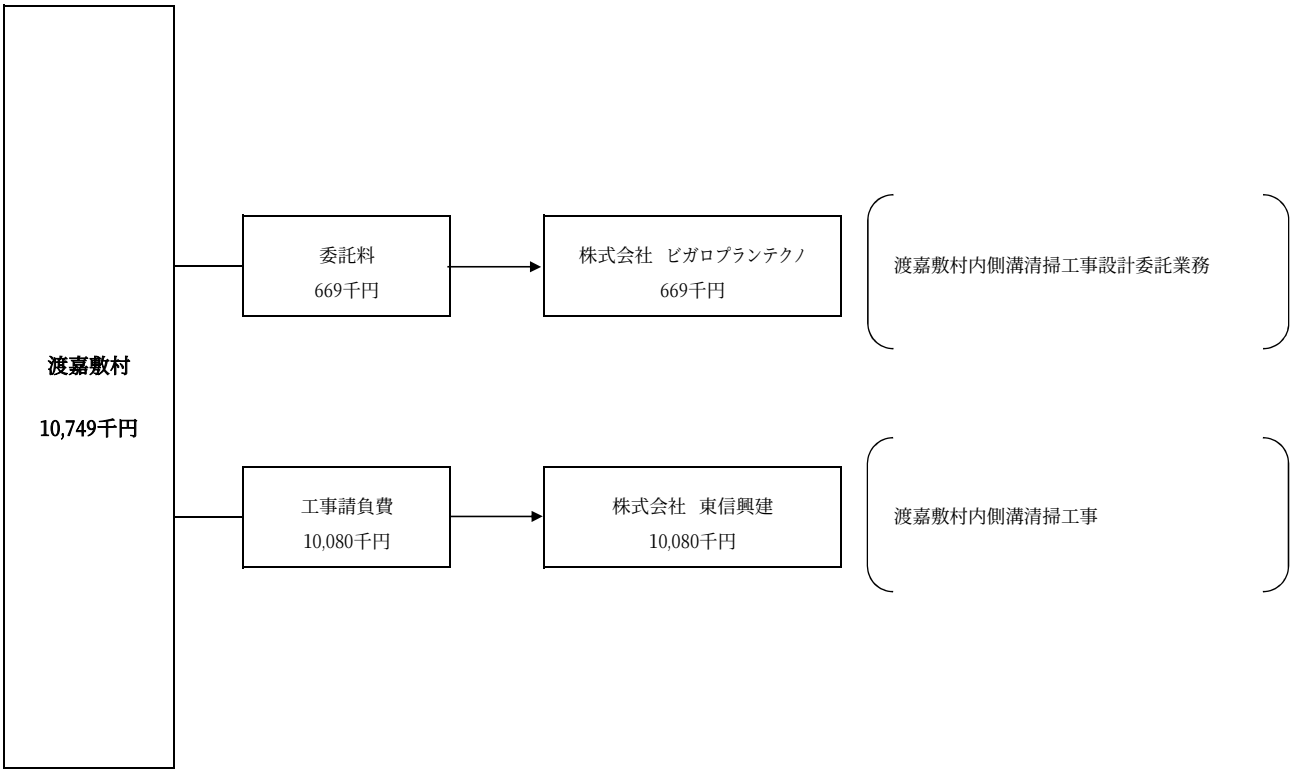
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今回の側溝清掃を実施したことで衛生環境はおおむね図られた。しかしながら老朽化した側溝蓋の損傷が見られることから、側溝蓋の取替を行い安全性を確保する必要がある。	定期的に点検を実施し、計画的な清掃を行うことにより、更なる住環境の向上を図る。

今後の取り組み方針

今回実施できなかった箇所を速やかに実施するとともに、定期的な点検と清掃の実施により住環境の向上を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,749	10,749	8,599	2,150	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は三者見積もりにより選定し、工事については指名競争入札により業者決定しており妥当であったと考えている。○費目使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－⑤	渡嘉敷村災害時避難所環境改善事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 社会リスクセーフティーネットの構築
担当部課名	民生課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	災害発生時の避難所に指定されている「阿波連生活館」の、トイレ（概存1箇所）の増設及び空調機を設置し避難所の環境を整備する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,000				
	(b)予算現額	5,335				
	(c)増減額(b-a)	2,335				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	5,335				
B. 執行済額		5,335				
うち交付金充当額		4,267				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100%				

予算の状況の説明：当初計画していた男女別トイレの設置と空調機の設置事業はすべて実施した。また、当初計画以外に、広間とステージ部分を仕切るカーテンの修繕が発生したため、追加工事を実施し改修した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
トイレ改修工事の実施	目　標	（　トイレ改修　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	トイレ改修完了			
空調機の設置	目　標	（　空調機の設置　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	空調機の設置完了			

達成状況説明：当初の目標どおり、男女別トイレの改修及び空調機を設置し、環境整備を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
トイレ改修工事の実施及び空調機の設置	目　標	（　－　）	トイレ改修・空調機設置	（　）	（　）	（　）
	実　績		トイレ改修・空調機設置			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：当初の目標どおり、男女別トイレの改修及び空調機を設置し、環境整備を実施した。環境整備を実施したことにより、災害時の避難者の精神的負担及び肉体的負担の軽減が見込まれる。

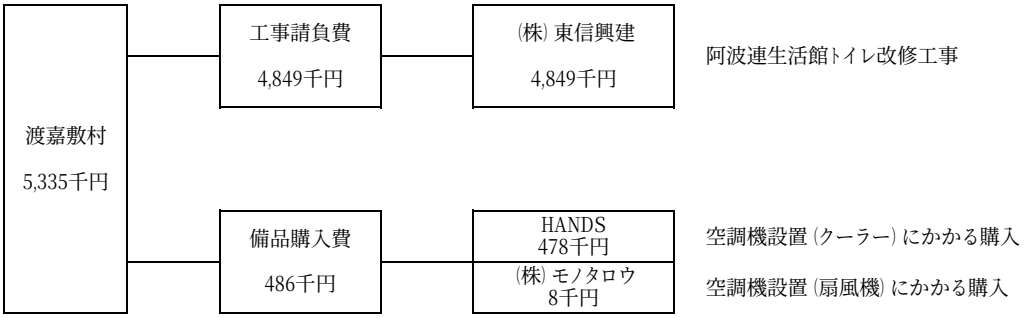
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	男女別トイレの設置及び、空調機を設置したことにより、災害時の避難者の負担軽減が図れるため、現状においては課題は無いものと考える。	男女別トイレの設置及び、空調機を設置したことにより、災害時の避難者の負担軽減が図れるため、現状においては改善余地が無いものと考える。

今後の取り組み方針

施設管理を適正に行い、施設の機能を維持することにより、災害避難所における良好な生活環境を提供する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,335	5,335	4,267	1,068	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者については、指名競争入札により業者決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目使途については、支出等に関する書類により確認し、定期性であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6	渡嘉敷村生活環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ 離島における定住条件の整備
担当部課名	民生課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－9
事業内容	現在既存の村営理容館が築30年近く経過し、経年劣化による施設の破損等がみられるため、老朽化した内部の改修と、機能低下した備品等の改修を実施する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000				
	(b)予算現額	6,346				
	(c)増減額(b-a)	1,346				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	6,346				
B. 執行済額		6,346				
うち交付金充当額		5,076				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100%				

予算の状況の説明：当初計画していた内部施設の修繕事業及び設置機材の整備事業は全て実施した。また、当初計以外に床の修繕及び外壁の修繕が発生したため、追加工事を実施し改修した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
渡嘉敷村営理･美容館改修工事	目　標	内部改修工事実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	内部改修工事完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：当初の目標どおり、内部施設の改修及び理･美容機材を設置し、施設の環境整備を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
渡嘉敷村営理･美容館内部改装工事完了	目　標	（－）	内部改修･機器設置	（　）	（　）	（　）
	実　績		内部改修･機器設置完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：当初の目標どおり、内部施設の改修及び理･美容器機を設置し、施設の環境整備を実施した。環境整備を実施したことにより、船舶での移動が困難な住民等へ、サービスを提供することができ、住民福祉の向上が推進できる。

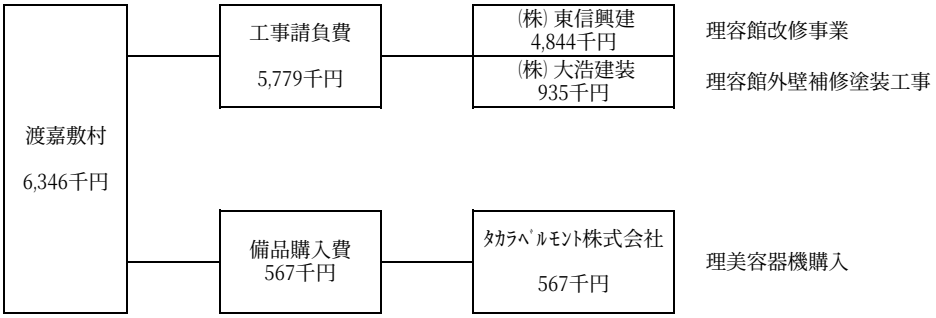
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	内部改修及び理美容器機を設置することにより、本島に行くことが困難な高齢者や子育て世帯等の負担の軽減が図れるようになったため、現状において課題は無いものと考える。	内部改修及び理美容器機を設置することにより、本島に行くことが困難な高齢者や子育て世帯等の負担の軽減が図れるようになったため、現状において改善余地が無いものと考える。

今後の取り組み方針

営業する理容師・美容師の確保及び、理美容館の更なる利用者数の増加を図るため、情報提供や周知などを行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,346	6,346	5,076	1,270	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者については、指名競争入札により業者決定しており、妥当であったと考えている。 ○費用使途については、支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	